目 次

日時：平成28年２月11日（木・祝）午後１時～４時
会場：鎌倉生涯学習センター　ホール

01　第１部　県立鎌倉高等学校の生徒による「かまくら学」の発表
02　第２部　講演会「歴史的遺産を活かす～鎌倉が取り組むべきこと～」
18　第３部　パネルディスカッション
37　「おわりに」　鎌倉市長からのあいさつ

歴史的遺産と共生する、これからのまちづくり
～世界遺産のあるまちをめざして～

神奈川県・横浜市・鎌倉市・逗子市世界遺産登録推進委員会では、「鎌倉」の世界文化遺産への再推薦・登録に向け、様々な取組を行っています。
普及啓発活動の一環として、現在の状況や課題等について有識者の講演、有識者と社寺関係者等との討論を通じて明らかにし、市民、県民への周知を図るため、平成28年2月に講演会を実施しました。この冊子はその講演記録をまとめたものです。

第１部
県立鎌倉高等学校の生徒による「かまくら学」の発表

「かまくら学」とは？

県立鎌倉高等学校で取り組んでいる研究で、鎌倉の歴史・文化や産業・交通など様々な角度からの鎌倉研究を行うほか、遺跡の保存活動等に係るボランティア活動や鎌倉まつりへの参加など、地域との協働による活動が行われています。今回は、平成26年度において優秀な成績をおさめた3名の生徒さんに発表してもらいました。

村山さん
「古民家の魅力にせまる」

鎌倉の古民家の魅力について、その構造・特徴・歴史を分かりやすく取り上げてくれました。

宮城さん
「鎌倉と環境・資源・エネルギー」

鎌倉市の環境への取組内容、市民の意識について調査・分析し、説得力のあるプレゼンをしてくれました。

飯田さん
「『吾妻鏡』について」

『吾妻鏡』に隠された不思議や嘘について、興味深く取り上げてくれました。

「はじめに」

神奈川県・横浜市・鎌倉市・逗子市世界遺産登録推進委員会
会長からのあいさつ（要旨）

「武家の古都・鎌倉」の世界遺産登録につきましては、平成25年４月末に「国際記念物遺跡会議（イコモス）」から不記載の勧告を受けました。神奈川県・横浜市・鎌倉市・逗子市（以下、「４県市」という）で協議の上、再推薦登録を目指すということで、いったん国には推薦を取り下げていただいたという経緯があります。

その後、イコモス勧告の分析・検証結果を基に、「武家の古都・鎌倉」に替わる新たなコンセプトを組み立てるため、国内外の類似資産との比較研究を中心とする基礎的な調査研究を、平成26年度より４県市の世界遺産登録推進委員会で実施しているところです。

一方、鎌倉市としましては、推薦の取り下げという事態を受け、もう一度原点に立ち返り、まずは、まちづくりの上での諸課題を解決することに向けて、世界遺産にふさわしいまちづくりに取り組むこととし、様々な取組を始めています。

特に平成26年度から、国の「歴史まちづくり法（地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律）」に基づく、鎌倉市歴史的風致維持向上計画を策定することとし、去る１月25日に、認定を受けることができました。また、これを踏み台にして、新たに文化庁が展開している日本遺産の認定に向けての申請も始めています（４月25日、日本遺産に認定されました）。

「鎌倉」の世界遺産への再推薦登録の道のりは大変厳しいものになると予想されますが、４県市が力を合わせて課題の解決に取り組むとともに、このような機会を通じて市民・県民の皆様、あるいは社寺など関係の団体の方々の理解をいただきながら取組を進めて行く所存ですので、今後ともご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

神奈川県・横浜市・鎌倉市・逗子市
世界遺産登録推進委員会
会長　小林昭（鎌倉市副市長）